

大仙市アーカイブズ ニュースレター 第18号



大仙市マスコットキャラクター
まるひちゃん

出張展示を行いました！ 秋田県公文書館企画展『アーカイブズのチカラ』

今年で開館30周年を迎えた秋田県公文書館。県ではこれを記念し、県公文書館はじめ、県内市町村が所蔵する資料を一堂に展示する企画展「アーカイブズのチカラ」が開催されました。

大仙市アーカイブズからは震災に関する資料を展示しました。展示資料を紹介します。



期間：8月24日（木）～9月24日（日）
場所：秋田県公文書館2階 特別展示室

関東大震災の記録



大震大火写真帖 第一東京火災之部 (大正12年)

大仙市出身の工学博士である物部長穂が残した写真帖。構造物の耐震性の研究に取り組んでいた長穂は、関東大震災の発生後、被災地へ入り被害状況を撮影した。こうした調査の結果、関東大震災では3～4階の被害が大きく1階は無事であったことがわかった。このことから、大地の震動を加味した耐震構造の研究に取り組み、従来の研究を覆す新たな耐震工学論を発表した。

(物部長穂関係資料)



震災書類(大正12年9月)

角間川出身者の、避難者等調査について書かれた公文書。調査によると、震災直後から10月末までに30名の角間川出身者が故郷へ避難したことがわかる。そのうち数名は帰京せず、角間川での就職を希望している。

(大曲市役所文書)



構造物ノ振動並ニ其耐震性ニ就テ

(大正6年4月
～大正13年1月)

物部長穂は、土木学会等で発表した耐震研究の集大成としてまとめた論文を、大正9年4月に東京帝国大学に提出し、工学博士の学位を取得した。しかし、その後発生した関東大震災による建物被害により、従来の地震による振動と耐震性の考え方が間違っていたことを知り、長穂は新たな視点で研究に取り組んだ。これら一連の研究は、大正14年に帝国学士院恩賜賞を受賞した。展示資料は、修正して書き上げた研究論文。(物部長穂関係資料)

ふるさとを襲った強首地震



赤十字社秋田支部救護所 (強首小学校)(大正3年)

当館が使っている双葉小学校校舎の前身である強首小学校が、赤十字社秋田支部の救護所となった。

(細谷譽治ガラス乾板資料)



震災御下賜金調及震災工事設計書図面(大正3年)

西仙北地域大沢郷では、山体崩壊による地震湖の水を抜くため、トンネルの工事が行われた。資料には、工事の詳細や掘られたトンネルの工事図面が掲載されている。本トンネルは、布又地域に残され強首地震の足跡を見ることができる。

(大沢郷村役場文書)

アーキビストの仕事を体験 ～高校生インターンシップ～



▲ 閲覧室や展示室にて、所蔵資料の保存・活用について説明。

7月27日（木）に横手高校から1名、
8月1日（火）に大曲高校から2名をインターンシップで受け入れました。

高校生には、リーフレット等の作成や、和紙と糊を使った補修作業を体験していただきました。皆さん真剣な眼差しで、丁寧に取り組んでくださいました。

1日という短い時間でしたが、将来を考える際に少しでも役に立つ体験となりましたら幸いです。

物部長穂と関東大震災 100年 ～企画展・アーカイブズ講座のお知らせ～

9月1日で関東大震災から100年が経過しました。大仙市協和地域出身の物部長穂は、震災予防調査会委員として直後に被災地調査を行っています。そして、作成した記録をもとに研究を進め、現在の耐震構造の基礎を築きました。

大仙市アーカイブズでは、**10月17日（火）～12月16日（土）**まで、**企画展「物部長穂と関東大震災 100年」**を開催します。長穂の残した記録から、関東大震災とその後の耐震構造研究の発展に迫ります。当企画展が、現在及び未来の防災へ繋がることを願っています。

また、**10月28日（土）**には物部長穂と関東大震災について、大曲にある「はなび・アム」で**アーカイブズ講座**を行う予定です。

ものへながほ ～物部長穂とは～

物部長穂（1888年6月19日 - 1941年9月9日）は、唐松神社の宮司である物部長元の二男として生まれました。日本における水理学・耐震土木学の研究者として、ダム建設や河川開発に大きな影響を与えた郷土の偉人です。

ダムの堤体の強度を確保し、かつ建設コストの低廉も可能としたバットレスダムの耐震工法確立や、重力式コンクリートダムの工法理論の構築が高い評価を受けています。

また、群馬県の「丸沼ダム」は、長穂が基本設計したものです。平成15年（2003）、当時の優れた設計と技術が後世に伝えるべき姿で残されているとして、発電用ダムとしては初めて国の重要文化財に指定されました。そして、長穂の発案した「河水統制計画論」が、その後の河川開発に革命をもたらすなど、物部長穂は、今日の災害防除の基礎となる水理額と耐震工学の第一人者です。



いべんと瓦版

秋田県公文書館開館 30周年特別企画 秋田県公文書館まつり

Akita Archives Fes 2023

～あすへ語りつなごう！秋田の未来～

期 日：11月3日（金）

場 所：秋田拠点センターALVE 1階きらめき広場

第1部 出張展示&展示解説会（11：00～13：15）

第2部 トークライブ（13：30～14：30）

第3部 しゃべり場（14：30～15：00）

当館職員も登壇します！



ホームページでは、これまでの展示資料を紹介しています。ぜひご覧ください。

